

## 第 18 回腎病理夏の学校

会 期：2023 年 8 月 26 日（土）13 時～18 時、27 日（日）9 時～13 時

場 所：住友ベルサール新宿グランド

内 容：腎病理に関する講義及び実習（初級・中級）

形 式：講義（26 日）会場、ライブ・オンデマンド配信（初級・中級）

実習（27 日）バーチャルスライドを用いた会場での対面形式（初級・中級）

対象者：腎生検病理を学習したい臨床医・病理医

募集人数：講義及び実習 100 名程度、講義のみ 200 名程度

参加費：講義及び実習 25,000 円、講義のみ 10,000 円

世話人：慶應義塾大学医学部病理学教室 橋口 明典

E-mail: [akinoh@keio.ac.jp](mailto:akinoh@keio.ac.jp) TEL: 03-5363-3764

申込期間：2023 年 5 月 22 日（月）～28 日（日）

申込方法：Web 申込のみ (<https://forms.gle/EMJz8ZTmhqNjkJyz9>)

主催：日本腎臓学会 ・ 日本腎病理協会

※ 現地対面は抽選となる場合があります（6 月中旬に抽選結果をご連絡します）。

※ 現地対面を申し込まれた場合でも、いずれのコースもオンデマンドで視聴できます。

※ 現地で実習だけ参加の場合でも受講料は同じです。

※ 講義のみを選択された場合、通信容量の関係で、ライブではどちらか一方のみを視聴して頂きますが、オンデマンドではいずれも視聴できます。（オンデマンドのみの視聴も可能です）

※ ライブ配信で Web 視聴者からの質問は現時点で考えておりません。

※ 現地対面が抽選となり外れた場合のオプションについては、下記をご選択ください。

※ 実習資料のみの配布は、現時点では考えておりません。

### 概要

第 18 回腎病理夏の学校では、講義および実習を初級・中級コースにわけてプログラムを作成します。講義は会場とオンラインのハイブリッド形式としますが、受講者はオンデマンドですべての講義を聴取できます。実習は初級コース用の典型例、中級コース用の非典型例、各 6 例を準備する予定で、コース別に適宜 10 人程度のグループ分けをし、チューターが、症例を選択して、一例 30 分ほどかけて解説を行います。

## 講義

質問時間をとるため、1コマ1時間という余裕をもったプログラムとしました。

初級コースでは、これから腎病理を学びたい、病理標本を見始めたばかりの医師を対象に、腎病理の初歩を学びます。

中級コースは、ある程度腎生検診断を行った医師を対象に、より実践的な鑑別のテクニックについて学びます。

「ネフローゼ症候群の鑑別診断」、「MPGN 型糸球体傷害の鑑別診断」「尿細管間質病変の病理診断」「移植腎病理入門」の4プログラムを準備しました。

## 実習

バーチャルスライドを用いて、チューター1人あたり10人の受講生での解説を予定しています(予算等で変更になる可能性があります)。

初級コースでは、疾患の診断よりも、各病変の評価の仕方を中心に解説します。IgA 腎症、膜性腎症、Lupus 腎炎、糖尿病性糸球体硬化症、MPGN 型糸球体傷害、Amyloidosisなどを考えていきます。

中級コースでは、実際の病理診断の流れに沿って、解説をします。ネフローゼ症候群、MPGN 型糸球体傷害・糸球体沈着症、尿細管間質疾患、移植腎から各1-2例を用意します。

## プログラム

		初級コース	中級コース
8月26日	12:00	13:00	受講生受付開始
	13:00	13:05	開校のことば・説明
	13:05	14:05	腎生検標本の取り扱い
	14:05	14:15	休憩
	14:15	15:15	光顕標本の評価と鑑別診断
	15:15	15:35	休憩
	15:35	16:35	免疫蛍光・免疫組織化学標本の評価と鑑別診断
	16:35	16:45	休憩
	16:45	17:45	電顕標本の評価と鑑別診断
8月27日	9:00	12:00	実習・初級クラス(典型6症例)
	12:00	12:05	閉校式